

オリジナルトランプゲーム

大戦争 あるいは 西洋タクチーキ

山札は52枚、ジョーカーは使わない。
プレイヤーは3～4人程度がよい。

まず52枚のトランプをシャッフルし、山札を作る。これを上から4枚ずつ各プレイヤーに配る。
プレイヤーは何かの方法で最初に手番を実行するプレイヤーを決めておく。
手番は最初のプレイヤーから時計回りでまわす。

各プレイヤーは、自分の手番が来たら、次の①と②をおこなう。

①自分の手番が来たプレイヤーはカードを山札の上から引く。
引く枚数は 自分が場に出しているクラブの枚数+1枚である。(最低1枚)

②手札を引いたプレイヤーは以下の行動のいずれかを選択する。

- ★クラブのカードを1枚手元に置く
- ★他のプレイヤーに戦争をしかける
- ★何もしない、自分の手番をパスする

戦争のルール

戦争をしかけたプレイヤーが先にカードを1枚出す。
その後相手は、そのカードに勝てるカードを出す。
勝てるカードを出せなかったプレイヤーは、負ける。
カードを出さず、負けることを選択してもよい。
クラブを出すことはできない。

カードの勝敗のルール

- * スペードに勝てるのはハート
- * ハートに勝てるのはダイヤ
- * ダイヤに勝てるのはスペード

同じマークなら、数字の大きい方が勝つ
ジャックは11、クイーンは12、キングは13とする。
戦争に使ったカードは、カード墓場を用意しておき、そこに集めておく。
墓場のカードはそのゲーム中は2度と使えない。

スペードを騎士 ハートを僧侶 ダイヤを商人と見立てている。(クラブは農民である)

戦争で勝ったプレイヤーは相手が場に出しているクラブのカードを全てもらえる。
ただし、これは手札には入らない。場のカード、手札のカードとは別に得点用カードとして別個に置いておくこと。
得点用になったクラブのカードは他のプレイヤーに奪われることは無い。

以上、①と②を繰り返し、山札が無くなった時点でゲーム終了。
終了したら各プレイヤーは手札をみんなに見せ、

「手札にあるクラブのカードの数字」+「自分の場に出ているクラブのカードの数字」+「戦争で奪い、得点となったカードの数字」

を計算し、自分の得点を報告する。
得点が一番高いプレイヤーがゲームの最終的な勝者となる。

選択ルール

最初にゲームをプレイするプレイヤーは少し有利なのではないかと思われるため、一番最初のプレイヤーの手番だけ、山札からカードを引かないようにする。というやり方もある。2番目からは普通に山札からカードを引く。

戦争の際、自ら負けを認めたプレイヤーは、勝者のプレイヤーから手札を1枚引き抜かれるというペナルティを入れてもよい。引き抜いたカードは勝者の手札に加えられる。

ゲームのコツ

数字が大きいクラブのカードを出すのは危険である。他のプレイヤーから狙われる可能性が高い。

戦況が自分に有利に傾いたら、クラブのカードを場に揃え、一気に山札を引きまくり、山札を無くすようにするといいだろう。自分に有利なうちにゲームが終了する。

今までカード墓場に捨てられたカードを覚えておくと戦争が有利になるだろう。
(スペードがほとんど使われたゲームでは、ハートにほとんど意味は無く、ダイヤに利用価値がある)

最初に強くなったプレイヤーは、他のプレイヤーから狙われる可能性が高い。
したがって「私は弱いですよー」というふりをし続けるのも大切な戦法である。

戦争に使えないクラブのカードでも、持ち続けることに意味がある。
手札が多いプレイヤーは基本的に戦争に強い。手札がクラブばかりだとしても多ければハタハリになる。

作 ほっかいしまうま